

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス メロディ&ウィッシュ		公表日		令和 8年 3月 20日	
環境・体制整備	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	5		: 個別支援のためのスペース確保・適切な遊戯スペースの確保 (特に雨天時の屋内において児童と支援員20名が体操程度の運動ができる広さ・猛暑日など屋外で活動不可の日の増対策) : 死角の排除・職員配置の事前確認の徹底 (防犯カメラは確認はできるが、事故予防力は弱い)	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	5		: 児童の実態及び人数に対する職員配置基準の見直し。 : 個別活動3~5名+集団活動10名程度の場合、個別支援2名、集団指導3名の確保が必要。 : 配置基準を児童の実態に応じたものに改善できないか。(強度行動障害児は3名に対して職員1名など)		
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	4	: 視覚情報として児童名と顔写真を貼っている。 : 以前よりは構造化の改善 (送迎車両の掲示や並ぶ場所の視覚化)が見られる。	: 活動内容や予定の視覚化。 : 質問1の改善点と同様、肢体不自由児 (車椅子利用・下肢装具常時使用児など)の安全確保。		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	2	消毒等を食事の前後などに都度実施している。	: 個別のリラックススペースの設置。 : 手洗いやトイレの高さ、敷の確保 (手作りの箱などで調整中)		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	3		: 個別スペースの充足 (更衣室や静養室との併用の為、必要な児童数とスペースの数が一致していない) →パーテーションの追加・再利用等) ~兼用であるため見直しによっては個別スペースとは呼べない。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル (目標設定と振り返り) に、広く職員が参画しているか。	5	3	: 支援の前後に児童の様子や支援方法等について話し合いを実施している。 : 感染症対策、児童送迎、児童の様子など情報共有し対応策を講じながら声掛け等実施している。	: 情報の周知~全てのサイクルの徹底が求められる。 : PDCAサイクル確保の為にも、その時間の確保が求められる。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	4	: 保護者からの直接の意見、要望等については主に送迎時や電話等で承っている。	: 意見の集約と内容の整理 (改善がなされているかの検証など)	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	5	: 意見を伝える機会を設けてもらっている。	: 成果の透明性向上。 : 授業日の午前中に職員が他の事業所応援に行くことが多く、最低でも週一日の全員での打合せ時間の確保を要する。 : 個々の意見に対する明確な答えの提示 (可能か部分的に可能か不可能か)	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5	(無回答2)	第三者評価実施は実施していない。 (令和7年度未現在)	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	6	2	: 虐待やハラスメントの研修会あり。	: 研修機会増を希望 (特にスキルアップ)	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	4	(無回答1)	: 未体系化 (プログラム化) →体系化に向けた協議を継続 : ホームページに公開されているがどちらかというと保護者向けで職員間での共有・共通理解ができていない。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	2		: アセスメントをとっているのかわからない。 : 現状、日々の活動 (送迎時含む) 観察と個別の聞き取り、担当者会議において総合的に実施。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	3	: 支援の前後に情報共有をはかっている。	: 担当者会議等への支援員の参加確保。(他部署応援や児童発達支援管理責任者の外部業務の軽減など) : 現場担当者の意見は聞かれていない。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	3	: 優先順位の高い項目から順次取り組んでいる。	: 20名定員では個別支援が困難 (定員の段階的な適正規模への縮小・10名) : 回覧のみで話し合いによる共有ができていない。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	3	(無回答2)	: インフォーマルなアセスメントは個人的には意識してやっているが、全職員がそういう姿勢でやっていない。 : フォーマルなツール作成が必要。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	2	(無回答1)		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	3	: 月1~2回のミーティング内で実施。	: 未体系化 (プログラム化) →体系化に向けた協議を継続。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	3		: 授業日の活動がほぼ同じ。曜日による内容の工夫。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	2	: 個別支援が必要な場合は調整を行い実施。	: 集団活動のみで個別活動は行われていない。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	3	事前に児童の様子を伝達し、予期せぬ事態への対応等を協議。	限られた職員への負担集中を避けるよう役割分担を明確にする。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	3	児童の変化や興味関心について情報を共有。 重要事項の報告・共有が行われている。	職員配置（シフト等）の関係で十分な引継ぎ等ができない場合がある。毎日の情報共有に努める。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	4	(無回答1) 強度行動障害の児童に関する情報共有や対策について協議。	支援の改善に繋がる活動等の詳細を記録するシステムの構築。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	2		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	4	3	(無回答1)	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育てるための支援を行っているか。	4	3	(無回答1) : 屋内外での活動を選択できる。	: 自己選択を謳っているが、実際は本人の意思よりも活動のやりやすさ・管理のしやすさ（支援員の都合）に合わせていると感じる。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	4	(無回答1)	: 日々支援にあたる職員が一番理解していると思うが、担当者会議にはいることは一切ない。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	3	(無回答2)	: 連携等の体制は未整備。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	2	(無回答1) : 送迎時に学校や保護者と情報共有。	: 学校によって情報共有（下校時刻の変更等も含め）に差がある。直接学校への提案と併せて自立支援協議会も活用し改善を求めめる。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	4	(無回答1)	: 書類上の引継ぎに加えて、関係者同士の直接の協議を行う。 : 提供される情報が少ないと感じる。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	2	(無回答1) : 移行時に管理者等との間で協議。	: 情報提供や引継ぎは不十分だと感じる。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	5	(無回答1)	: 年間～月間計画の中で機会と内容を明確にする。 : 全くない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	5	(無回答1) : 令和7年秋に西都市のふれあい合同運動会に参加（参加可能な児童のみ）	: 現状、他の事業所との交流機会は設けられていない。 : 全くない。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	6	1	(無回答1) : 児童発達支援管理責任者が部会長を兼ねて参加。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	3		: 保護者との関りが少なく、あまりできていない。 (保護者側が拒否する場合あり)
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	6	(無回答1)	: 支援員の知識習得の機会を要する。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	2	(無回答2)	: まず職員が理解できていない。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	3	(無回答1)	: そのような機会が全くない。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	1	(無回答1)	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	3		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	6	(無回答2)	: 全くない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	2	: 主に児童発達支援管理責任者が対応。	: 苦情があっても改善策はとられていない。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	1	: 月一回の通信（紙面）の発行。SNS（希望者のみ）による活動の様子を発信を少なくとも毎週実施。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	1		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	1		: 十分な時間の確保が必要と感じる。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わられた事業運営を図っているか。	2	5	(無回答1)	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	3	(無回答1)	: 作成されているのか周知や共有はない上に、訓練等もない。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	3	(無回答1)	: 行っていない。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	2	: 主に保護者からの情報をもとに確認と共有を実施。	: 確認・共有ともに不十分。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	2	: 医師から指導を受けた場合は保護者にも確認し摂取可能な物や量、反応があった際の対応について確認・共有している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	3	: 管理者または児童発達支援管理責任者により実施。	: 安全計画というものがあのか知らない。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	2	(無回答1) : 管理者または児童発達支援管理責任者により実施。	: できていない。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	2	(無回答1) : ミーティングでの情報共有や対応策の協議、報告書の閲覧による当時不在者への共有等で再発防止に努めている。	: 共有のみで対策に関する検討がされていない。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	1	(無回答1) : 定期的に実施し意識の向上がはかられている。	: 年一回の法人内研修では不十分だと感じる。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	2	:	: 手順に沿って実施しているのか？保護者の了承を得ているのかなど支援員は知らされていない。	